

市場街

- ・ H24年から開催され、アートやクラフトに関わる作品の展示・販売、ワークショップ、オープンファクトリーを実施している。同時期に開催される「ミラレ金屋町」、「工芸都市高岡クラフト展」とともに『工芸都市高岡の秋』としてものづくりのまち高岡を代表するイベントとなっている。
- ・ R4年度にはこれまでの取組みが評価され、「第27回ふるさとイベント大賞」における大賞（内閣総理大臣賞）や「2022年度グッドデザイン賞」を受賞した。

＜来場者実績＞※R2はオンラインでのみ開催、R3はオンライン、現地双方で開催
 （上段：来場者数 下段：オンライン番組再生回数[各年12月時点]）

R1	R2	R3	R4	R5
24,300人	18,941回	9,623人 18,471回	18,422人	22,530人



ひなフェス

- ・ 幅広い世代を対象に、文化を気軽に体験していただくイベントを実施（H29～）
- ・ イベントの企画・運営はアート＆クラフトシティ高岡推進委員会が中心となっていて行っている。
 ※アート＆クラフトシティ高岡推進委員会
 文化を活かしたまちづくりを目指し、アートやクラフト、音楽などに親しむための事業の企画や実施、情報発信等を行っている。
- ・ 実施企画…茶道体験、鋳物製作体験、音楽ライブ、楽器演奏体験、マルシェ等

＜来場者実績＞※新型コロナウイルスの影響により、R1～3は実施なし

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
651人	1,775人	—	—	—	782人	742人



これまでの本市の取組状況 【2 高岡市の文化力、文化事業の発信】

文化創造都市高岡ウェブサイト運営事業

- 市民の生活に根付く文化や芸術に関するイベント等のニュース記事や本市を拠点に活動する人々を紹介するインタビュー記事を掲載し、「文化創造都市高岡」の魅力を発信している。
- ニュース記事等を掲載した際に、市SNSを活用し、ウェブサイトの閲覧数増加に取り組んでいる。

< 閲覧数実績 >

H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
23,342PV	25,134PV	26,001PV	29,979PV	25,000PV	30,960PV	32,276PV	34,039PV



文化創造都市高岡イメージイラスト等のフリー素材作成・公開

- 高岡市の歴史や文化の魅力を発信するため、文化創造都市高岡に関連するイラスト等をだれでも自由に使えるフリー素材として令和3年からウェブサイト上に公開している。（商用利用に関しては事前申請制）
- フリー素材はこれまでに、イベントグッズや案内看板、ECサイト、名刺等に活用されている。
- フリー素材公開数：60点（ロゴマーク2点、イメージキャラクター7点、関連イラスト〈人物〉11点、関連イラスト〈文化財等〉10点、関連イラスト〈風景等〉4点、名刺テンプレート25点、壁紙1点）



イベントグッズ

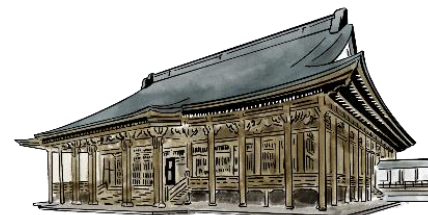


案内看板



自動販売機ラッピング

TAKAOKA
ライバルはご先祖様。文化創造都市高岡



これまでの本市の取組状況 【3 芸術・文化の発表機会、身近な鑑賞機会を充実する事業】

ユニークベニューTAKAOKAプロジェクト

- R1年度から開始。高岡駅や御旅屋セリオ、ウイング・ウイング高岡などの公的空間を会場とし、出演希望者を募り、歌やダンス、伝統芸能など多様なジャンルのステージ公演を年間約30回開催している。
- 中心市街地で開催することで、市民に対する芸術文化の鑑賞機会創出とともにまちなかの賑わい創出につながっている。
※令和4年10月からYouTubeチャンネルを開設し、当日のみ閲覧可能なライブ配信を開始した。
- ユニークベニューTAKAOKAの開催情報を中心に、コンサートや文化イベント情報を掲載した季刊誌を年4回発行している。

< 来場者実績 >

R1	R2	R3	R4	R5
28公演/1,792人	22公演/1,327人	37公演/1,928人	31公演/2,307人	37公演/3,204人



どこでもステージ事業

- 文化資産やまち並み、景勝地をステージとして、伝統芸能や音楽、ダンスなどのパフォーマンス動画
オンラインパフォーマンス動画「高岡時空舞台」を制作し、Youtubeチャンネルで配信している。
- 市内施設やイベントでも放映し、文化創造都市高岡の魅力発信に寄与している。
- 全6作品のうち2作品は富山大学との連携事業として、学生が企画・撮影・編集を行った。

< 再生回数実績 R6.3.31時点 >

「勝興寺の月あかりに舞う」 (R3:洋舞、箏曲)	「鋳物師のまちに華やぐ伝承の舞」 (R3:民踊、民謡)	「時代と文化を繋ぐ」※大学連携 (R3:日舞)	「山町筋に響く四季のハーモニー」 (R4:合唱)	「秋の峯に香る音色」※大学連携 (R4:尺八、華道)	「桜に舞う悠久の雅」 (R5:雅楽)
4,859回	2,271回	2,028回	2,779回	1,112回	1,387回



これまでの本市の取組状況 【4 新たな万葉のふるさとづくり】

高校生万葉短歌バトルin高岡

- 高校生たちの豊かな感性や表現力の向上、「万葉のふるさと高岡」の魅力発信を目的に、全国の高校生を対象とした高校対抗団体戦による短歌大会。
- 1次審査を通過した8校8チームが高岡市で開催する本戦に進む。本戦は3人1チームのトーナメント戦で、題を盛り込んだ自作短歌を互いに詠み、批評し合い、プロ歌人を含む判者が優劣を判定する。
- H28年度から開催（令和2～4年はオンライン開催）
※令和5年度は勝興寺国宝指定を記念し、本戦会場を勝興寺とした。



<応募状況>

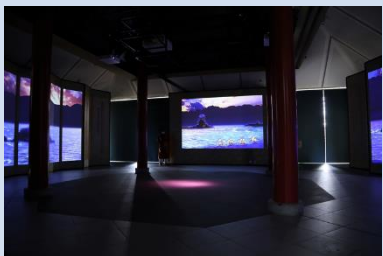
H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
27校63チーム	40校95チーム	31校60チーム	33校67チーム	25校32チーム	30校68チーム	19校34チーム	28校41チーム

令和改元を契機とした事業

万葉集を典拠とする令和改元による万葉集への関心の高まりを捉えた「万葉のふるさと高岡」の魅力発信の取組み

万葉歴史館展示室魅力向上事業

誰もが気軽に万葉集を楽しめる施設への転換を図り、万葉歴史館展示室をリニューアル



万葉トークイベント

「令和」の考案者と言われている中西進氏と、高岡市万葉歴史館館長・坂本信幸氏、歌人・小島ゆかり氏によるトークイベントを開催



万葉歴史館「令和」関連事業

- 「令和」の発表直後、梅花の宴や、元号の典拠となった万葉集の部分について解説する特別企画展を開催
- 関連した衣装展示や万葉衣装体験の実施
- 市内外で万葉に関する出張講座や講演会などを実施



これまでの本市の取組状況 【5 藤子・F・不二雄先生の顕彰にかかる事業】

アトラクティブ高岡推進事業

- ・ ドラえもん ترامやドラえもんポストを通して、「藤子・F・不二雄先生のふるさと高岡」の魅力発信に取り組む
- ・ R4年度にドラえもん ترام10周年記念事業、R5年度に藤子・F・不二雄先生 生誕90周年記念事業をそれぞれ実施した。

<ドラえもん ترام乗車人数実績>

H30	R 1	R2	R3	R4	R5
121,709人	110,900人	57,322人	63,453人	67,689人	89,290人



高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー事業

- ・ 藤子・F・不二雄先生のふるさと高岡の拠点施設である「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」を管理・運営し、たくさんの原画を通して、先生のマンガの原点や作品の楽しさ、おもしろさに触れていただいている。
- ・ 常設されている原画や高岡時代に描いたまんが、先生ゆかりの愛用品だけでなく、毎年テーマをかえて期間限定の企画展示も行っている。
- ・ H27.12に開館。R5.10.18に入館者30万人を達成。

<入館者数実績>

H30	R 1	R2	R3	R4	R5
54,281人	42,919人	19,512人	22,557人	41,076人	38,870人



これまでの本市の取組状況 【6 高岡市民文化振興事業団との連携による文化振興事業】

高岡市芸術祭

- 高岡市芸術文化団体協議会・高岡市美術作家連盟とともに、邦楽、洋楽、華道、茶道及び美術の各分野で活動する芸術家たちが、日頃の芸道の成果を広く市民に披露している。
- 昭和46年に始まり、R6年度で第53回を数える。



未来へ繋ぐ舞台鑑賞事業（10才のファーストコンサート、劇団四季「こころの劇場」）

- 高岡市小学校長会の協力のもと、市内小学生を対象とした「オーケストラ鑑賞事業」「演劇鑑賞事業」として、芸術性の高いトップクラスの舞台公演を継続開催している。
- オーケストラ鑑賞事業は、オーケストラ・アンサンブル金沢を招聘し、市内小学4年生全児童を対象にH6年度から開催。指揮者による分かりやすい解説や楽器説明、指揮者体験や合唱など、体験型も含めたレクチャーコンサート。初めて生のオーケストラ演奏に触れ、音楽の楽しさと感動、鑑賞マナーを学ぶ機会を提供している。
- 演劇鑑賞事業は、劇団四季が主催する「こころの劇場」プロジェクトを招聘し、市内小学6年生を対象にH23年度から開催。作品に織り込まれるメッセージや歌の素晴らしさ、大掛かりな舞台美術を通して、子どもたちの創造性や想像力を高めるとともに、感動を共有できる機会を提供している。



0歳児からのコンサート（R6年度新規事業）

- 幼少期から芸術文化に親しむことで、子どもの豊かな感受性を育むとともに、幼い子どもを育てる親子等と一緒に芸術・文化を楽しむ機会として開催する。
- フロア席（マット敷き）の設置やベビーカー預り、入場料無料にするなど、子育て家庭等が気軽に参加しやすいコンサートとする。



これまでの本市の取組状況 【6 高岡市民文化振興事業団との連携による文化振興事業】

高岡市万葉歴史館

- 万葉集を中心テーマに据えた全国初の研究施設としてH2年度に開館。
- 越中万葉や万葉集をテーマとした常設展示や企画展示、学習講座を開催しており、万葉の世界を楽しみながら学ぶことができる。また関係資料の収集・整理し閲覧できるようになっており、その研究成果を全国に発信している。
- 万葉衣装体験や、勝興寺国宝指定関連事業「万葉衣装で国宝勝興寺ー万葉衣装行列ー」などを開催し、万葉集に気軽に親しむ機会を提供している。

< 来館者数 >

H30	R1	R2	R3	R4	R5
22,736人	63,336人	12,385人	12,550人	14,772人	16,787人



高岡市美術館

- 伝統と創造が織りなす ひらかれた美術館を目指し、企画展を開催するとともに、学芸員によるギャラリートークやワークショップなど、各展に関連したイベントや、民間団体と連携したマルシェなどを実施している。
- 主な企画展 魔法の美術館 アート・イン・ワンダーランド (R5) /バンクシーって誰?展 (R4) / 国立西洋美術館コレクション展 (R3) /大澤光民展 (R2) など
- 定例企画展 高岡市民美術展／クリエイティブ・たかおか／GEIBUN (富山大学芸術文化学部 卒業・修了研究制作展) / 高岡市美術作家連盟展／日本伝統工芸富山展

< 来館者数 >

H30	R1	R2	R3	R4	R5
103,640人	67,076人	17,268人	37,942人	115,984人	84,348人



これまでの本市の取組状況 【6 高岡市民文化振興事業団との連携による文化振興事業】

高岡市立博物館

- 高岡の歴史・民俗・伝統産業に関する資料の収集保存、調査研究、展示、教育普及等に関する活動を行っている。
- 常設展「高岡ものがたり」では、高岡の歴史・民俗・伝統産業をジオラマ、映像、各種体験コーナーなどで分かりやすく紹介しているほか、常設展内の「お宝コーナー」における適宜話題の内容を取り入れた展示、館蔵品展や特別展、各種講座やワークショップなどを行っている。

< 来館者数 >

H30	H31	R2	R3	R4	R5
58,048人	63,367人	33,960人	34,708人	49,657人	53,913人



ミュゼふくおかカメラ館

- カメラと写真・映像文化の魅力を伝えるミュージアムとして、H12年度に開館。建物は日本を代表する建築家・安藤忠雄氏が手掛けた富山県内唯一のもの。
- 全国屈指のカメラコレクションの中から、常時約150点のクラシックカメラを常設展示するほか、第一線で活躍する写真家たちによる企画写真展、地域の写真活動を紹介する展示などを開催。
- 主な企画写真展 富井義夫「珠玉の世界遺産」(R5) / 吉野信「野生の輝き」(R4) / 岩合光昭「ねこづくし」(R3)

< 来館者数 >

H30	H31	R2	R3	R4	R5
19,389人	17,520人	8,533人	15,014人	13,598人	16,640人



これまでの本市の取組状況（参考数値）

<ユニークベニューTAKAOKAプロジェクト（公演数）>

R1	R2	R3	R4	R5
28公演	22公演	37公演	31公演	37公演



ユニークベニュー
TAKAOKA
町 まちなかステージ

<高岡市芸術祭（出演団体、出展数等）>

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
舞台公演（出演団体数 ／出演者数）	20団体 ／238人	30団体 ／324人	—	28団体 ／287人	24団体 ／236人	23団体 ／278人
華道展（出瓶数）	153点	157点	—	146点	151点	159点
高岡市美術作家連盟展 （出展数）	150点	157点	—	116点	127点	116点



<市民美術展（一般公募作品数）>

H30	R1	R2	R3	R4	R5
300点	266点	—	236点	249点	204点



<高岡市芸術文化団体協議会（会員総数）>

R2	R3	R4	R5	R6
54団体・36個人	52団体・37個人	48団体・39個人	49団体・38個人	46団体・39個人